

# Society 5.0の推進と 政府研究開発投資目標の達成に向けて

---

内閣府政策統括官  
(科学技術・イノベーション担当)

# Society5.0の推進と政府研究開発投資目標の達成に向けて①

- **平成30年度 科学技術関係予算案 3兆8,396億円（対前年度比 2,504億円増）**  
 【増額内数】 科学技術イノベーション転換 1,915億円増  
 その他の増分 **589億円増**
- **科学技術関係予算のトレンド、平成30年度予算政府原案全体の状況を踏まえれば、一定の成果。**

## （1）これまでの科学技術関係予算のトレンド

✓ 平成13年度 ⇒ 平成29年度までの16年間 **: 297億円増（年平均18.6億円増）**  
 （第2期科学技術基本計画開始年度） ※集計方法の変更による増分（910億円）を除く

## （2）平成30年度予算政府原案

	30年度予算	29年度予算	増減	
一般歳出のうち、	一般会計歳出総額	977,128	974,548	+2,581
社会保障関係費を除き、	一般歳出	588,958	583,591	+5,367
	社会保障関係費	329,732	324,735	+4,997
	<b>その他</b>	<b>259,226</b>	<b>258,856</b>	<b>+370</b>
	地方交付税交付金等	155,150	155,671	▲521
	国債費	233,020	235,285	▲2,265

**総額370億円の増額**

- **引き続き、政府研究開発投資目標（対GDP比1%）の達成に向け、更に努力。**

Society5.0の推進と政府研究開発投資目標の達成に向けて

(参考)一定の前提を置いた場合の内閣府試算

平成32年度におけるGDP：600兆円 × 1% = 6兆円、うち当初 4.4兆円  
 平成29年度における科学技術関係予算 当初 3.5兆円 } 0.9兆円の差

# Society5.0の推進と政府研究開発投資目標の達成に向けて②

(新規事業及び科学技術イノベーション転換事業について)

	概算要求額		政府予算案	前年度相当額 (基礎額÷0.9)	対前年度 相当額比
	うち要望額	うち基礎額			
新規事業	1,036	558	734	532	138%
科学技術 イノベーション 転換事業※	1,175	526	915	721	127%

※ 公共事業の内数であり、基礎額・要望額の配分を確定できない国交省の科学技術イノベーション転換事業を除く。

## (参考) 「Society5.0の推進と政府研究開発投資目標の達成に向けて」(平成29年4月21日CSTI) (抄)

総合科学技術・イノベーション会議(CSTI)として、平成30年度予算編成に向け、以下の取り組みを行う。

2. CSTIは、各府省の概算要求のうち、・・・Society5.0の実現等に向け科学技術イノベーションに資することが見込まれるもの※を特定する。
3. CSTIは、上記2で特定された事業について、予算編成過程において重点が置かれるよう、財務省と連携する。

※新規事業及び科学技術イノベーション転換事業

## (参考) 一般歳出(除:社会保障関係費)における対前年度比

平成29年度 ⇒ 平成30年度 : **100.14%** (258,856億円 ⇒ 259,226億円)